



お知らせ

次回のM'Sインタビューには、佐々淳行氏(元内閣安全保障室長 著書「危機管理のノウハウ」[東大落城]など)をお迎えする予定です。

みなさんからの佐々氏へのご質問を添付のおハガキでお寄せください。

また、あんな有名な方に登場してもらいたい、こんな話を聞いてみたいというご意見をお寄せください。

ないだりしません。もちろん散歩の時は鎖でつなぎますが、私は過保護も虐待だと思う。リボンを付けたリ、色を塗ったりするのも虐待だと思います。

正確には過保護の方は、本当の虐待ではないけれどもあいうイヌはほとんど抱くでしょう。すると、爪が床に当たらないから、爪がすぐ伸びます。この間、歩かなくなったダックスフンドが、爪がすぐ伸びていました。それは痛いからだと思うんですが、多分ずっと抱いていたからだと思います。そして甘い物をやつて、歯も口も腐つて、病気にしやすいから、それも虐待だと思います。

里親探しはイヌの性格を第一に考える

前川 この前、藤本義一さんが、新聞に「飼っているセパードが地震の前日(1月16日)の昼から非常に不機嫌になって食事をしなくなった」ということを書いておられましたけれども。

このイヌたちは、特に何か変化はありませんでしたか。

オリバー ここにテンカンのイヌがいました、その前の日のお昼からテンカンになりました。長い間テンカンがなくて、本当に久しぶりのテンカンだったんですが、いつも大雨の前にテンカンがあるからね。でも地震のことはあまり考えなかったね。カメラが何か出るかと思ったね。

前川 こもかなり揺れましたか。

オリバー 揺れました。

前川 そういう時は、イヌは吠えるものなんですか。

オリバー 地震の時は、イヌは皆怖がりしました。私は向こうの部屋に寝ていて、ここを開けてイヌを全部外に出しました。前川 地震のあとの捨てられたイヌとかが、これからピークで出てくるとおっしゃいましたけれども、地震のあとは、全部預けに來られる方ですか。

オリバー 預かりと、神戸で、飼い主がま

だ分らないイヌが神戸のネットワークを通じてある所に集まり、そして、それらを夜中に取りに行きます。

前川 先ほど、イヌが50〜100匹と言いましたけれども、地震後に増えた数はどのくらいですか。

オリバー そうですね。50〜60匹増えました。

大半は飼い主が分からない、あるいは捨てられたかどうか分からないというイヌです。先にも飼い主がいるかどうかを確認しないと、もらってももうことはできないです。でも、大体イヌの顔を見たら、このイヌは飼犬か、このイヌは捨て犬・野良犬かというのは、毛並みとかを見たら、大体分かりますからね。

前川 最近、また逆に、結構もらいに來る人も多いようですが、非常に自分勝手だという新聞記事も見ただけです。それはいかがでしょうか。

オリバー イヌの欲しい人には、家族の状況とか、お勤めがあるかどうか、時間があるかどうか、お金があるかどうか。お金はいくら必要ないけれども、それと、家族の雰囲気はちょっと調べたいですから、30分間お話をします。そして大体この人はこういうイヌが合うとわかります。その人がイヌを見て欲しいんじゃないかと、私は、この家族に合うイヌはどつちかで考えますから。

皆、欲しいイヌのイメージがありますからね。柴犬の雑種、オスの耳が立っているとか、でも、形は大事ではないと思います。そのイヌの性格がその家族と合うかどうかが一番問題です。

信頼できる動物の病院をつくりたい

前川 先生は、今こういうことをやっておられて、先生からのメッセージとか思いという意味では何を一番感じておられますか。

オリバー 私たちは、人間と動物ではなくて、皆一緒だと思いますから。

それと、イヌの飼い方は、自分の子どもと同じように飼ったら間違いないです。自分の子どもを外につなぐというようなことはしないでしょ。自分の子どもと全く一緒と考えたい。時々いたずらとか、罰とか、それから褒めることも、大体一緒ですからね。

前川 日本の場合は、そうならないと飼うのであれば、そうして欲しいということですか。

オリバー 皆、イヌのイメージ、こういういう……というのがありますからね。でも、イヌは、愛情を10%かけたら、100%戻ってきます。イヌを物と同じように飼ったら、物はずっと物ですからね。でも、イヌは、愛情と尊敬をかけたなら、100%、200%戻ってきます。

前川 先生の夢というか、何かこれからやっていきたいことはありますか。

オリバー 動物の病院をここにつくりたいです。この動物だけでなく、大勢の人たちが安心して連れてこれるような。治療費が安くて、信頼できる病院をつくりたいです。きっと動物を大切にすることが増えると思います。

前川 どうもありがとうございました。



ARK・メンバーズクラブ募集

捨てられたり、虐待を受けた不幸な動物たちを助けるために設立されたARKでは、ご加入、ご協力して下さるメン

- ・ファミリーメンバー.....年会費10,000円
- ・フレンドメンバー.....年会費 5,000円
- ・ヘルプメンバー.....年会費 3,000円
- ・保護犬「フー」保護メンバー.....年会費 1,000円

ご寄付、ボランティアも受け付けています。

お問い合わせ 〒563-01

大阪府豊能郡能勢町野間大原595 アーク事務局

T E L 0727-37-0712 F A X 0727-37-1645